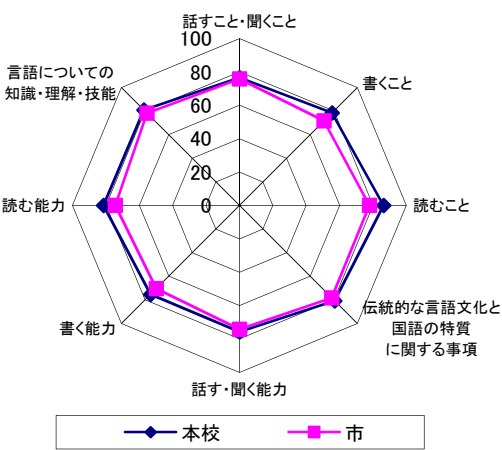


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	76.7	75.9	71.7
	書くこと	78.3	71.8	73.2
	読むこと	86.4	78.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.6	78.2	79.4
観点別	話す・聞く能力	75.7	74.2	70.8
	書く能力	75.4	70.4	71.0
	読む能力	81.5	74.3	75.0
	言語についての知識・理解・技能	81.0	78.2	79.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●話し合いの司会者として、話し合いの内容からそれたきに、どのように注意したらよいかを考える問題の正答率が低かった。	・話し合い活動において、そのねらいを明確にする。司会者の役割について確認する。また、学級の話し合い活動や朝、帰りの会の進行などの場を活用し、司会、進行という役割を経験させていく。
書くこと	○作文については、条件（指定された文章の長さ、2段落構成、グラフから読み取ったことの記入）をもとに自分の意見を書くことができた児童が多かった。 ●会話形式で書かれた文章から情報を読み取り、話し合いの内容を踏まえてポスターに必要な情報を書き足すことができない児童が多かった。	・文章のどこにどんなことが書いてあるのか正しく読めるように文章を読む際は、サイドラインを引く、大切なことを簡単にメモ書きするなどの習慣を付け、可視化していく。また、条件に合わせて書くことができていない児童も見られるため、問題文をよく読み、条件に合った回答ができるよう普段から意識して指導にあたる。
読むこと	○説明文、物語文共に市の正答率を上回っているが、登場人物の心情を読み取る問題の正答率は、他の問題に比べて低かった。	・話の重要な部分や中心になる言葉を探しながら、ていねいに読めるようにする。普段からそれらの言葉を意識しながら読み、サイドラインなどを引くなどの工夫をさせていく。また、登場人物の気持ちの変化、山場での気持ちなどをよく考えながら読むことを心がけさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○漢字を読んだり、書いたりすることはおおむねできているが、6年生までに習った漢字を忘れてしまっている児童も見られる。 ●言葉の学習では、文の中における主語や、謙譲語の使い方の理解が十分でない児童が見られた。	・6年間の復習を計画的に行っていく。 ・主語、述語、修飾語について、尊敬語、謙譲語、丁寧語について学習内容を復習する。敬語については、教師、家族も含め、正しい言葉遣いを心がけるとともに、子ども自身が普段から積極的に使っていくようにする。